



# 『覚・求・徹』

～ 校長室だより ～

令和5年5月12日

第2号

葛城市立白鳳中学校

## 1年生、2年生の校外学習 晴天のもと無事終了！

5月9日（火）晴天のもと1年生の国立曾爾青少年自然の家、そして2年生の奈良方面の校外学習が行われました。

1年生は「1. 集団行動の一員であるルールやマナーを守り、常に集団の一員であることを自覚して自主的に活動できるようにしよう！、2. 仲間と共に同じ目標に向かって協働する事で新しい人間関係を築こう！、3. 自然の素晴らしさを体験し、それを大切に作る心をそだてよう！」、2年生は、「1. 歴史的遺産古都奈良を感じ、散策する、2. 仲間と時間を共有し、絆を深める、3. ルールやマナーを守り、行動する」のそれぞれ3つの目標、めあてを掲げ出発しました。

これまでのコロナ禍を吹き飛ばすような晴天のもと、バスに乗り込むみんなの晴れやかな笑顔、そして、様々なことを体験して帰ってきた笑顔、机の上では経験できない心からの笑顔でした！この校外学習で得られたことも多かったと思われませんが、課題も見つかったのではないのでしょうか。ぜひ、この貴重な実体験の「学び」をじっくりと振り返ってみてください。

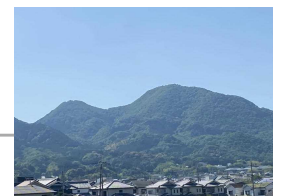


← 曾爾での入所式



→ 奈良公園の鹿と

## 5月8日リモート全校集会



先日、ある部活動の公式戦を観戦し、一生懸命プレーする姿に清々しい気持ちをもたらしました。その翌々日、下校の時、「先日は応援来ていただきありがとうございました。」とある生徒が声をかけてくれました。「こちらこそありがとうございました！」とますます清々しい気持ちになりました。人の心を動かす大きなひと言だと思いました。「おはようございます。」「ありがとうございました。」から自然と「笑顔」が生まれます。

歳時記にある「山笑う」という季語、まさに春の二上山にぴったりの季語です。暦はすでに夏ですが、緑輝く二上山のように白鳳中学校のみんなの「笑顔」が「あいさつ」から広がるとうれしいですね。

ちなみにみなさん、夏、秋、冬の山の季語は見つかりましたか？

### まめ知識

中国北宋の画家、郭熙（かくき）の『郭熙画譜』に四季の山それぞれの特徴として、『春山淡冶（たんや）にして笑うが如く、夏山蒼翠（なつやまそうすい）として滴るが如く、秋山明浄（めいじょう）にして粧ふが如く、冬山惨淡（さんたん）として眠るが如し』とあります。

ここから「山」を使った季語には

春・・・「山笑う」 夏・・・「山滴る」

秋・・・「山粧う」 冬・・・「山眠る」  
が使われるようになったそうです。

色々な季語を歳時記から調べて見ましょう！



### 5月の表彰伝達

#### 【バドミントン部】

第73回奈良県中学校バドミントン  
春季大会 女子ダブルス第3位

#### 【剣道部（男子）】

第31回奈良県中学校剣道選手権  
大会 準優勝

おめでとうございます！

文責 中川